

米づくり情報(平坦部) 第 6 号

令和 8 年 8 月 6 日

佐賀県農業試験研究センター 本場

本年産水稻の生育状況(8 月 6 日)

移植日	項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎 数 本／㎡	葉 齢 L	葉 色 SPAD	概 況 (平年または平均との比較)
6 月 18 日	夢しずく	本 年	84.5	375	12.6	40.0	【気象】 7月 30 日～8 月 5 日まで ◆平均気温…2.8℃高い ◆日照時間…長い(平年比 129%) ◆降水量…少ない(平年比 0%) 【生育】 ◆草丈 「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」はやや低く、「夢しずく」、「さがびより」は平年並み、「ヒヨクモチ」は高い。 ◆茎数 「夢しずく」、「さがびより」は少なく、「ヒノヒカリ」はやや少なく、「ひなたまる」、「ヒヨクモチ」は多い。 ◆葉齢 「ひなたまる」はやや少なく、「夢しずく」は平年並み、「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」、「さがびより」はやや多い。 ◆葉色(SPAD 値) 「ヒヨクモチ」は淡く、「夢しずく」、「さがびより」は平年並み、「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」はやや濃い。
		平 年	83.8	402	12.6	39.6	
		平年比(差)	101	93	(±0)	(+0.4)	
	ヒノヒカリ	本 年	73.3	491	12.9	38.6	
		平 年	75.1	514	12.4	37.5	
		平年比(差)	98	96	(+0.5)	(+1.1)	
ひなたまる	本 年	72.1	471	12.7	39.3		
	平均(2 か年)	74.8	405	13.2	41.1		
	平均比(差)	96	116	(-0.5)	(-1.8)		
6 月 19 日	さがびより	本 年	72.7	453	12.8	38.6	
		平 年	72.3	505	12.6	38.5	
		平年比(差)	101	90	(+0.2)	(+0.1)	
	ヒヨクモチ	本 年	71.7	863	13.2	35.9	
		平 年	66.3	741	13.0	38.7	
		平年比(差)	108	116	(+0.2)	(-2.8)	
留意点	○「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」は幼穂形成期を迎えており、「さがびより」、「ヒヨクモチ」もまもなく幼穂形成始期となる。 ○施肥管理: 登熟期の窒素不足は、背白粒・基部未熟粒や胴割粒等の発生を助長するため、穂肥診断に基づき適正量の穂肥を必ず施用する。「ヒヨクモチ」や「ヒノヒカリ」専用の全量基肥肥料を使用した圃場では、幼穂形成期～穂ばらみ期頃に葉色の低下がみられる場合は追肥を施用する。 ○水管理: 早生品種は、穂ばらみ期～穂揃い期まで浅水管理を行う。中生品種は、引き続き間断灌水を行う。晩生品種は、幼穂形成期前までには中干しを終了し、その後は間断灌水に切り替える。 ただし、台風や乾燥風・強風時には湛水し、稲体からの水分蒸散抑制に努める。 ○本年は、斑点米カメムシ類の発生が多いと予想される。畦畔の除草作業は出穂 10 日前までに行うとともに、適期防除をに努める。 ○病害虫防除: 農試作況「ヒヨクモチ」において、紋枯病およびウンカ類若齢幼虫の発生が確認されている。 農業技術防除センターの発生予察情報や地域での発生状況を確認し、適期防除に努める。 ●病害虫に関する情報は以下のリンク(農業技術防除センター病害虫防除部)より確認ください。 https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html						

注 1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」は、6 月 18 日移植の稚苗(播種期 5/25、播種量 湿粃 180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6 月 19 日移植の稚苗(播種期 5/26 播種量 湿粃 180g/箱)

2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間 30 cm × 株間 17 cm, 19.6 株/㎡(65 株/坪)

「ひなたまる」は、条間 30 cm × 株間 18 cm, 18.5 株/㎡ (60 株/坪)

「さがびより」は、条間 30 cm × 株間 20 cm, 16.7 株/㎡ (55 株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間 30 cm × 株間 15 cm, 22.2 株/㎡ (73 株/坪)

3) 栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4) 平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、 $\pm 1\sigma$ の外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値。

5) 「ひなたまる」については R6 年産から試験開始のため、過去2か年の平均値との比較。

6) 概況欄の平年値との比較については、以下のように定義している。

低い(少ない): 94 以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、

やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106 以上。

【幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成期(1mm)		出穂期	
	本年(平年差)	平年	本年(平年差)	平年
夢しずく	7/27(-1)	7/28	未	8/17
ヒノヒカリ	8/4(±0)	8/4	未	8/27
ひなたまる	8/5(+2)	8/3	未	8/25
さがびより	未	8/9	未	9/1
ヒヨクモチ	未	8/14	未	9/5

※8/6 現在 「さがびより」主茎幼穂長 0.3mm 程度

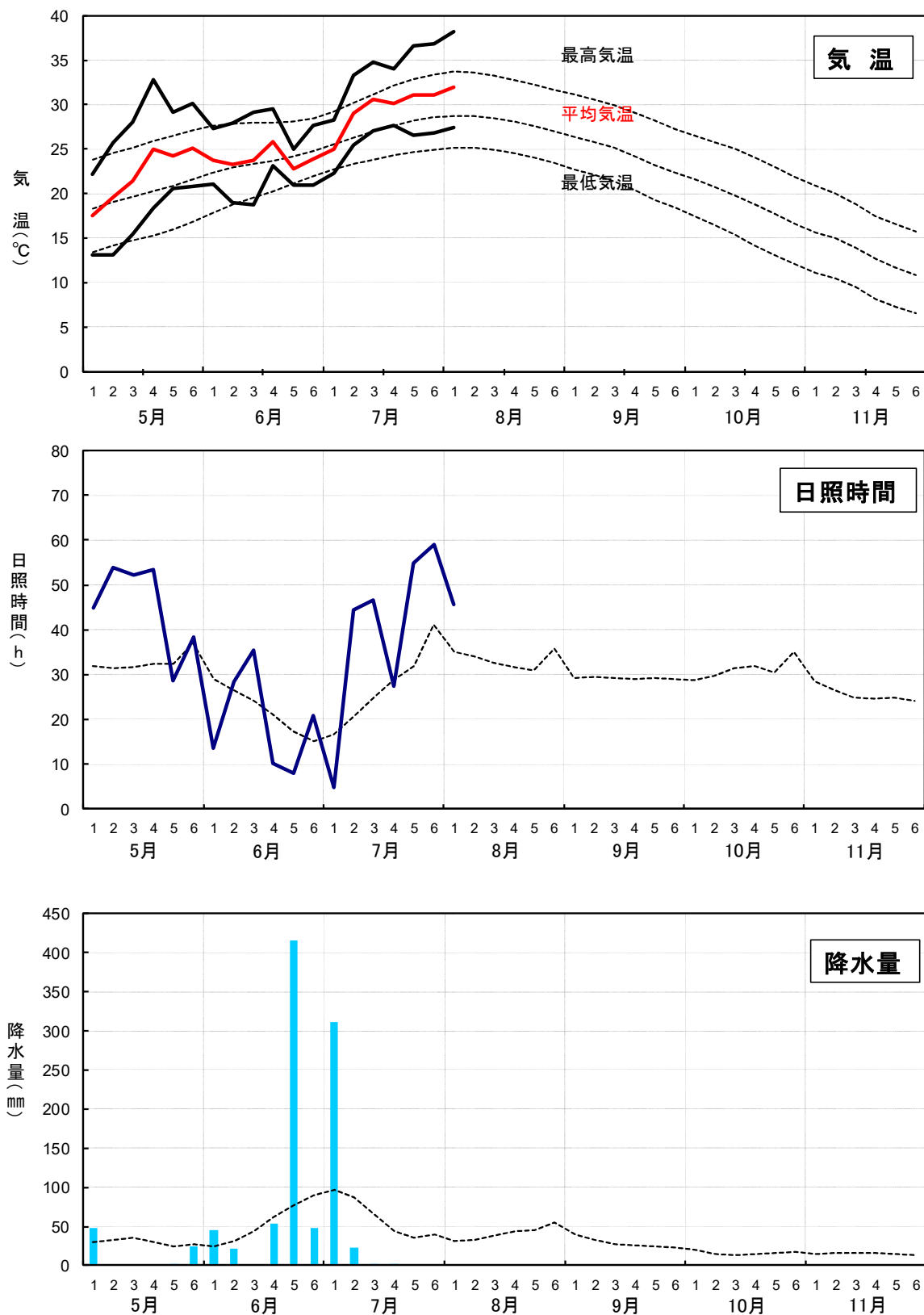
【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品 種	基 肥	中 追	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0 (7/30)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0 (7/10)	3.0	—	—
ひなたまる	4.0	2.0 (7/10)	3.0	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0 (7/16)	4.0	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

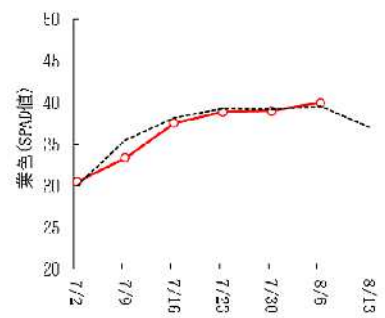
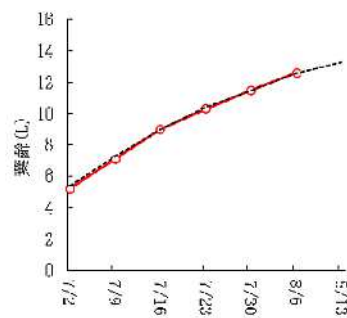
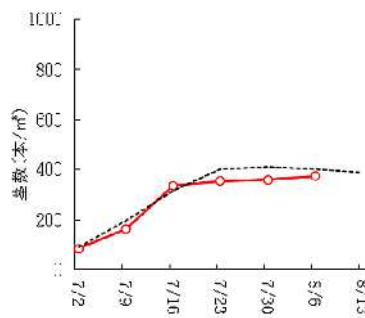
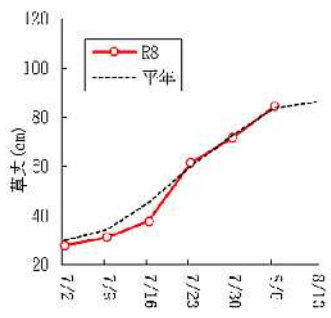
令和8年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

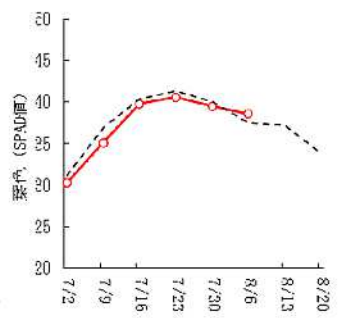
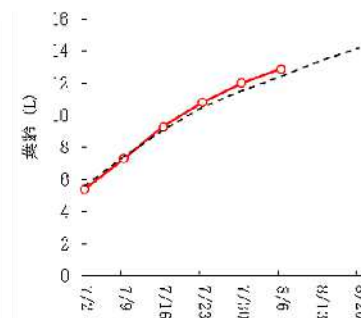
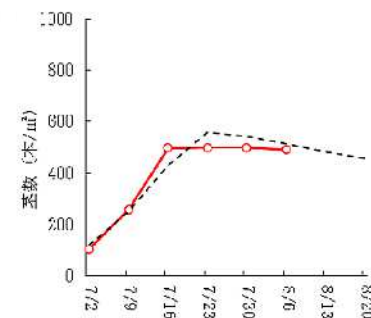
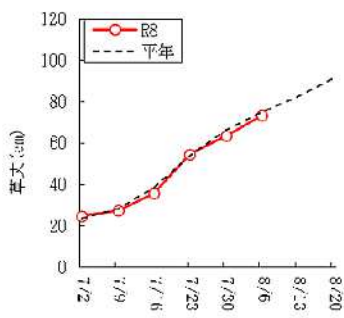
農業試験研究センター
作物栽培研究担当

【生育状況の比較】

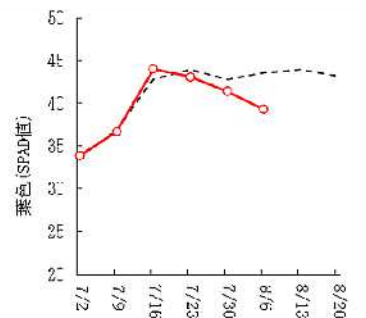
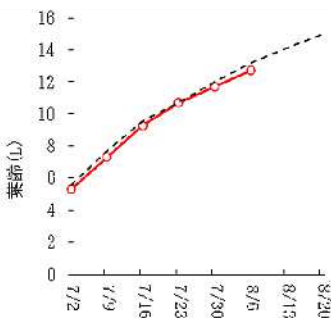
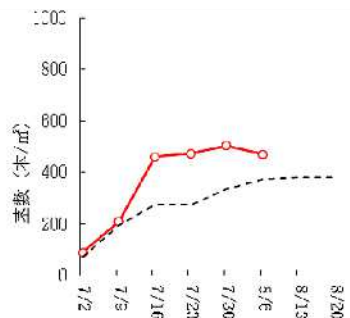
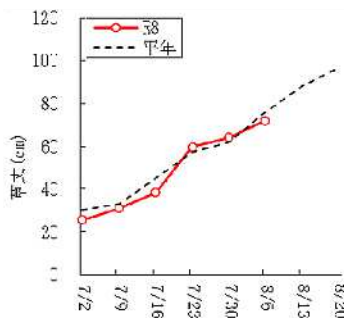
「夢しずく」



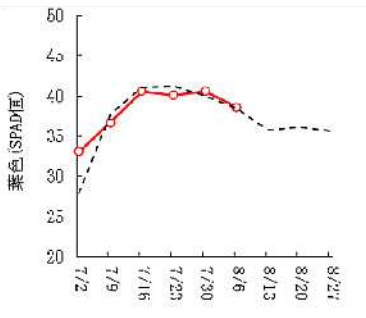
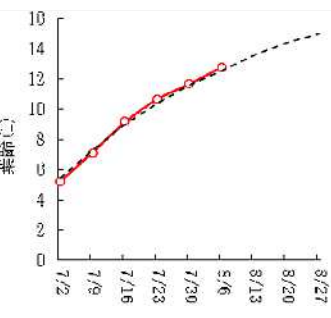
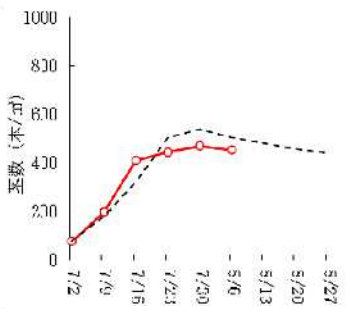
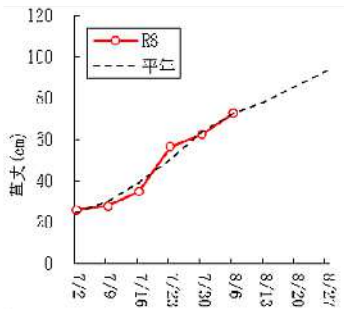
「ヒノヒカリ」



「ひなたまる」



「さがびより」



「ヒヨクモチ」

